

# 学校だより青南

## 11月号



平成29年11月1日

港区立青南小学校

校長 関 幸治

期待して待ちます

校長 関 幸治

青南小学校の玄関に落とし物を入れる箱があります。それを見てみると、水筒、体育着、紅白帽、ハンカチ、靴・・・中には新品と思われるものまで入っています。教室でも、消しゴムや鉛筆が落とし物として担任のところ届けられることも多くあるという話も聞いています。子供たちを取り巻く社会が豊かになっているという思いはあるのですが、落とし物箱を見るたびに、昔のことを思い出します。

私が大学3年生の時に、当時在籍していたクラブの遠征隊の一員としてパキスタンの奥地に行きました。下山途中、大きな野生の雄の山羊が2頭けんかをしているのに行き会いました。細い道の真ん中なので、進むに進めず、成り行きを見守っていました。ようやくけんかが終わりほっとして気付きました。日が暮れ始めていたのです。慌てたのがいけなかったのか、分かれ道で道を間違えました。どんどん下っているのですが、集合場所の警察署に着きません。真っ暗になって、やっと一軒の家を見つけました。そこで、片言の現地の言葉を使って警察署への案内を頼みました。快く引き受けてくれたのが6年生位の男の子でした。1時間30分くらい歩いてやっと警察署に着きました。感謝の気持ちでお金を差し出したところ、その少年は「お金はいらない。その代わりに、書くものがほしい。」と言いました。置いてあった荷物の中から、ボールペンや鉛筆を出しました。その少年は鉛筆を3本受け取ってくれました。私の鉛筆だけではどうしようもないと思い、わら半紙でできたメモ帳を渡しました。その少年の喜びようは大変なものでした。それもそのはずで、その少年たちが通う学校では、ノートや鉛筆を使わず、石の板に泥で文字を書いているのです。木を鉛筆のように細く削って、乾いては消した書くということを繰り返していました。少年が、宝物のように鉛筆とメモ帳を抱えて振り返り振り返り帰って行く姿が目につかびます。きっと、大切に大切に、書けなくなるまで使ったのだらうと思います。

その少年が、今の青南小学校の落とし物の様子を見たとしたら、どのような感想をもつのでしょうか。日本の小学生は恵まれていると思うのでしょうか、それとも、なんでもつたいないことをしていると思うのでしょうか。物を大事にしないで、大切に使いなさいというのは簡単なことです。しかしながら、使っている人間、持っている人間がしっかりとした意識をもたなければだめなのだと思うのです。青南小学校から落とし物がなくなる日がくるでしょうか。子供たち一人一人に期待して、待ちたいと思います。

11月17日（金）18日（土）の学芸会に向け、子供たちは張り切って練習をしています。どうぞご期待ください。

～写真業者の変更について～

年度途中ではございますが、今まで本校の行事等の写真撮影及び販売を行っていた「青葉カラー」さんが、会社の都合により上記の業務を辞めることになりました。それに伴い2学期から「コスモス」さんに委託することになりましたのでご報告させていただきます。

## 《11月行事予定》

- 1日(水) B時程 4時間授業  
就学時健康診断  
校外学習(2年)
- 2日(木) B時程 クラブ活動
- 3日(金) 文化の日
- 6日(月) 全校朝会
- 8日(水) B時程 4時間授業
- 9日(木) お話ポケット(1~3年)  
代表委員会
- 10日(金) 4時間授業
- 13日(月) 全校朝会
- 15日(水) B時程
- 17日(金) 全学年5時間授業  
学芸会児童鑑賞日 8:00登校
- 18日(土) 土曜授業 開校記念日  
全学年5時間授業給食あり  
学芸会保護者鑑賞日
- 20日(月) 学芸会振替休業日
- 21日(火) 全校朝会
- 22日(水) B時程 避難訓練
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 24日(金) 縦割り班活動
- 25日(土) 土曜授業 体育朝会
- 27日(月) 全校朝会
- 28日(火) 音楽鑑賞教室(5年)サントリーホール
- 29日(水) B時程 4時間授業  
研究授業(3年)
- 30日(木) B時程 お話ポケット(4年)  
委員会活動  
通学路点検

### 11月の生活目標

#### 【みんなで使うものを大切にしよう】

生活指導部

学校には、様々な学習道具や、竹馬、一輪車などの遊具があります。それらすべてに共通しているのが、「青南小学校のみんなのもの=公共物」ということです。では、それらの公共物が壊れてしまったり、汚れたりしたら…。次に使いたいと思っている人はどんな気持ちがするでしょう。

みんなで使うということは、みんなで大切に扱わなければなりません。次に使う人の気持ちを考えながら使うと、次に使う人だけでなく、自分の心まで気持ちよくなります。そんな「次の人のために」の気持ちをもてるように指導していきたいと思えます。

#### 【自分の安全は自分で守ろう

##### ～セーフティ教室～

生活指導部

本校では、子供たちに自分で自分自身を守る力を付けることを目的としてセーフティ教室を行っています。本年度は、1~3年生は「登下校中、お留守番中の安全」について赤坂警察の方々からお話をさせていただきました。実際の場面ではどのような行動をとればよいのかを教えてくださいました。4~6年生は「安全に楽しく使おうケータイとゲーム機」について、(株)TDモバイルの上野大助先生から、スマートフォンやSNSの正しい扱い方を危険な場面に出会わないようにするために大切なことについて教えてくださいました。ぜひ、各御家庭ごとにそれぞれの内容について話題にしていただければと思います。

### 校外学習～高尾山～〔4年〕

理科の「秋の自然を見つけよう」の学習で、10月10日（木）に高尾山に校外学習に行ってきました。4年生は、4月に校外学習で高尾山に行っていて今回は2回目となります。春に行った時と同じ道を通ることで、生えている植物を変化について、興味をもちながら調べることができました。



山の麓からグループ毎に出発し、各場所に置いてあるメモを手掛かりに植物を見たり触ったりしながらじっくり観察をしました。どの子もメモ用紙が足りなくなるくらいメモを書いていた。校外学習後、学校でそのメモをもとに、春の時に書いた画用紙のもう半分に今回観察した秋の植物についてまとめました。春と秋の自然の様子の違いについて気付くことができました。各クラスの教室の後方に掲示しています。ぜひ、機会のあるときにご覧ください。

登山では、声を掛け合いながらまとまってグループ行動をしたり、疲れている友達を励ましたりしている姿がたくさん見られました。

協力してがんばった後の頂上でみんなと見た景色、そして友達と一緒に食べたお弁当の味も格別だったようです。



### 連合運動会〔6年〕

10月24日（火）に港区小学校連合運動会が江東区夢の島競技場で行われました。区内全小学校の6年生が参加しました。競技は100m走をはじめ、種目別競技の走り高跳び、走り幅跳び、50mハードル走、ソフトボール投げ、400mリレーにそれぞれエントリーをした競技に参加してきました。

校内では、全校朝会の後、5年生を中心に1年生から5年生の下級生のみなさんに大きな声と拍手でエールを送ってもらい、全校の代表だという自覚をもって参加してきました。とても広い競技場で、電光掲示板、大勢の声援などで少し緊張した様子も見られましたが、それぞれが全力を尽くし、そして仲間を大きな声で応援する姿が見られました。それぞれがベストを尽くして記録を残すことが出来ました。

11月は学芸会があります。小学校生活最後の学芸会を成功させるために、思いを込めて取り組んでいきたいと思えます。



### 〔理科〕

「人の体と運動」では、学習の始まりに、ロボットアームでペットボトルのキャップ取りをしました。人間の腕では簡単な動作もロボットでは、簡単にはできません。ロボットと人の腕を比べてみると「曲がる所が多い。」「細かく分かれている。」ということに気づきました。そこでバラバラ骨格標本を組み立てて調べました。「骨がかみ合っている」など新しい発見がありました。人や動物の巧みな体のつくりを学び、それを生かした、暮らしを豊かにするロボット開発へと学びを深めていきたいと思います。



### 〔栽培委員会〕

栽培委員会では、校内の緑を増やし、植物に興味、関心をもってもらおうと、年間を通していろいろな植物を栽培しています。今年度前半は、夏の野菜や果物を栽培しました。夏休みの日照不足にも負けず、大きなスイカやたくさんの種類のメロンが収穫できました。2学期の始業式時に、校長先生から全校児童に紹介していただき、その後、栽培委員会の子供たちと一緒に試食しました。真っ赤なスイカはとても甘く、いろいろな種類のメロンは、それぞれ味と香りが違うという感想がもて、水やりを頑張ったかいがあったと喜んでいました。今は、冬に向けて、白菜やブロッコリー、イチゴ、にんじん、大根などの種を蒔いて育て始めたところです。たくさんの収穫を目指して、日々の水やりを頑張ります。

### 〔テニスクラブ〕

テニスクラブは、校庭にネットを張り、硬式のテニスボールを用いて活動しています。メンバーは、4年生7名、5年生3名、6年生5名の計15名です。6年生が中心になり練習の内容を計画しリーダーシップを発揮しています。4年生、5年生も、準備や片付けを素早く行ったり、6年生の指示をよく聞いたりして、協力して取り組んでいます。

試合ができるようになるためには、まずは「ラリーが続くようになること」「サーブが打てるようになること」を目標にして練習に励んでいます。少しずつラリーが続くようになってきました。テニスの上達とともに、より活気のあるテニスクラブになっていくことを期待しています。

